

## 中央学院大学准教授 皆川満寿美さん



アルバイトなども含めて働く時には、やはり**地域の最低賃金**はいくらなのかを知らなければいけませんし、**労働法**についての知識を得ておくことが必要だと思います。厚生労働省のウェブサイト(※)には、**マンガ**を使った教材や**クイズアプリ**などが用意されているので、ぜひアクセスしてほしいと思います。

私たちは「働くこと」を通じて、さまざまなつながりを持ちます。例えば、職場の同僚や、顧客とのつながりです。あなたが作ったり売ったりした商品が、まったく知らない誰かの役にたっているでしょう。また、別のつながりもあります。健康保険や年金制度への参加です(20歳を越えている人は、年金制度にはすでに参加しているでしょう)。税金を払うということも行います。これらは、あなたを守ってくれる制度ですが、こうした制度を通じて、あなたは、あなた以外の誰かを守っています。このように、**働くことを通じて、私たちは、とてもたくさんの人とつながりあっているのです。**



(※)厚生労働省「確かめよう労働条件」<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/>

## 川村学園女子大学准教授 齋藤美重子さん



グローバル化や AI技術の進展、合理化を促進させようとする流れ等により、決められたルールに乗れば安心という時代ではなくなっています。また、人生100年時代といわれる長い人生が待っています。先行き不透明で今までの価値観が通用しなくなるかもしれません。当然、「**教育→仕事→引退**」という**ライフデザインは困難**になるでしょう。収入を得ることはもちろんのこと、多くの人とつながりネットワークを拡げること、学び直すことといった、仕事・家庭生活・余暇活動・教育時期など様々なステージを**往復・複合化**することや**ウェイトを柔軟に変更**させることも考えておくべきではないでしょうか。これからの長い人生を生き抜くために、**学び続ける知的体力(学ぼうとする意欲・好奇心)**と **Negative capability(ネガティブ・ケイパビリティ、答えの出ない事態に耐える力)**を鍛えて、**Well-being(幸福)**を追求してほしいですし、私もそうあり続けたいと思っています。